平成16年1月22日

平成16年3月期　第3四半期業績の概況（連結）

上場会社名　株式会社電通国際情報サービス　（コード番号：4812　東証第1部）
（ＵＲＬ　http：//www.isid.co.jp）
代　　表　　者　　代表取締役社長　　瀧浪　壽太郎
問合せ先責任者　　取締役常務執行役員　　笠　　健児　（ＴＥＬ：(03)3228-6160）

１．四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無：　無

２．平成16年3月期 第3四半期業績の概況（平成15年4月1日～平成15年12月31日）

(1)連結売上高

（百万円未満切捨）

	百万円	%
16年3月期 第3四半期	46,995	3.7
15年3月期 第3四半期	45,327	-
(参考)15年3月期	70,813	

(注)売上高は、当該四半期までの累計値である。
パーセント表示は、前年同期比増減を示す。

＊ご参考：単独売上高

（百万円未満切捨）

	百万円	%
16年3月期 第3四半期	36,260	8.5
15年3月期 第3四半期	33,425	-
(参考)15年3月期	54,331	

［第3四半期売上高に関する補足説明］

前年同期と比較して増加している主たる要因は、電通グループ向けソリューション事業における、経営情報に関する大規模システム構築によるものです。

金融業向けソリューション事業においては、大手都市銀行向けシステム構築等の受注により、当該四半期において売上が拡大したものの、累計売上高は前年同期実績を下回って推移しております。

製造業向けソリューション事業では､自動車・精密機器業界を中心にIT投資が増加しつつあり､PDM、CAEプロダクトを中心としたソリューション・ビジネスが堅調となっており、前年同期実績を若干上回っております。

流通・サービス業向けソリューション事業においては、連結会計パッケージ「STRAVIS」及び人事管理パッケージ「POSITIVE」の受注・引き合いとも順調に拡大しており、前年同期に比べ若干上回って推移しております。

(2)当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

平成16年3月期 第3四半期におきまして、保有有価証券売却益445百万円を計上しております。

３． 平成16年3月期の業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
連　結	73,000	2,000	980
単　独	56,000	1,500	780

第 3 四半期までの累計売上高は、概ね中間期に発表した予想通りに推移しておりますが、システム構築事業における価格競争・価格圧力の影響により、営業利益では厳しい状況が継続しております。そのため、当該四半期における保有有価証券売却益 445 百万円の計上により営業外収益は増加しているものの、現時点での単独予想経常利益は、中間期に発表致しました予想数値に対して 200 百万円の増加、単独予想当期純利益では 110 百万円の増加にとどまる見込です。また、グループ会社におきましても同様に厳しい事業環境にあることから、連結売上高、経常利益及び当期純利益の予想につきましては、中間期に発表した数値の変更を行なわないこととといたしました。当社といたしましては、更なる営業努力及びコスト・コントロールの徹底に努めることにより、引き続き営業利益の増加に努める所存であります。

※ 上記は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以　上